

お使いの空調機の 電気代を削減します。

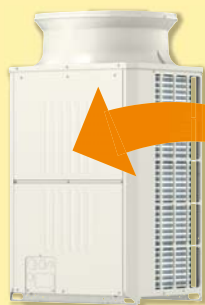
Point

1

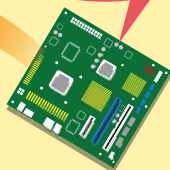
お使いの空調機の制御基板を
専用基板に入れ替え※、システムを構築するだけ！

※当社指定サービス会社による作業が必要です。

例：シティマルチY GR(高効率シリーズ)



高顕熱仕様用
専用基板



+



業務用ロスナイ
外気処理ユニット
(LGH-N・RDF₂)

または



手元リモコン
(MEリモコン: PAR-F30ME1)

※本システムを使用する場合は
AE-200Jが別途必要となります。

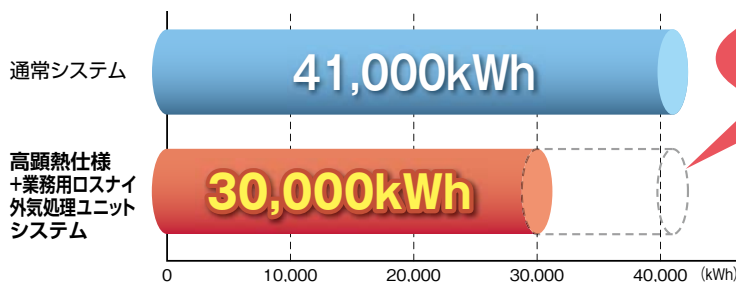
対象機種 | ●グランマルチ (PUHY-GP・(S) DMG以降) ●リブレースグランマルチ (PUHY-GRP・(S) DMG2以降) ●シティマルチY GR (PUHY-(E) P・(S) DMG2以降)
●シティマルチR2 GR (PURY-(E) P・(S) DMG3以降) ●リブレースマルチY GR (PUHY-RP・(S) DMG2以降)

納入後でも三菱電機の最新の省エネシステムを構築できます！

Point

2

三菱電機の最新の省エネシステムは電気代を削減します。



通常システムよりも
26%※省エネ！

※高顕熱仕様の室外ユニット(シティマルチR2 GRシリーズ)、標準仕様の室外ユニット(同シリーズ)それぞれに業務用ロスナイ外気処理ユニット(LGH-N・RDF₂シリーズ)を組み合わせた場合の比較。
[室外条件] JIS B 8616(東京地区)に記載の外気温度発生パターン
[室内条件] 26℃、60%(冷房)、22℃、40%(暖房)
なお年間消費電力は当社試算条件に基づいた数値であり、実際の設置環境、負荷条件により変化します。

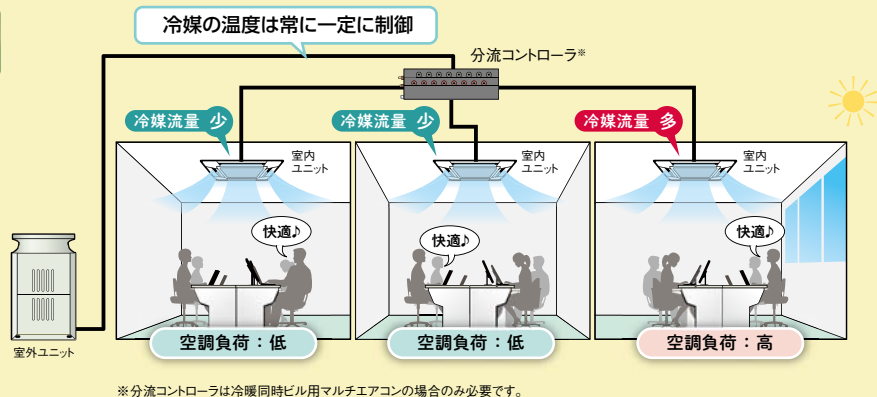
快適性は維持しつつ、電気代を削減できます。その理由は…

詳しくは裏面へ 

ご存知ですか？

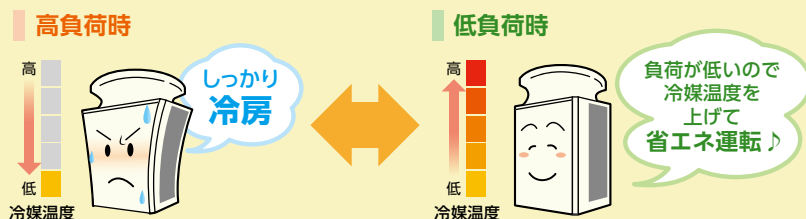
ビル用マルチエアコンでは、1台の室外ユニットに複数台の室内ユニットが接続されるため、室外ユニットは全ての部屋内の空調負荷の変化に備えて、常に一定の冷媒温度となるように制御をすることが一般的です。

冷媒の温度を一定に保ち、部屋内の空調負荷が変化した場合に冷媒流量を増減させて空調能力を変化させます。



もし

空調の負荷に応じて冷媒温度を可変することができれば、室外ユニットに搭載している圧縮機の動きを抑えることができ、空調機はより省エネな運転をすることができます。



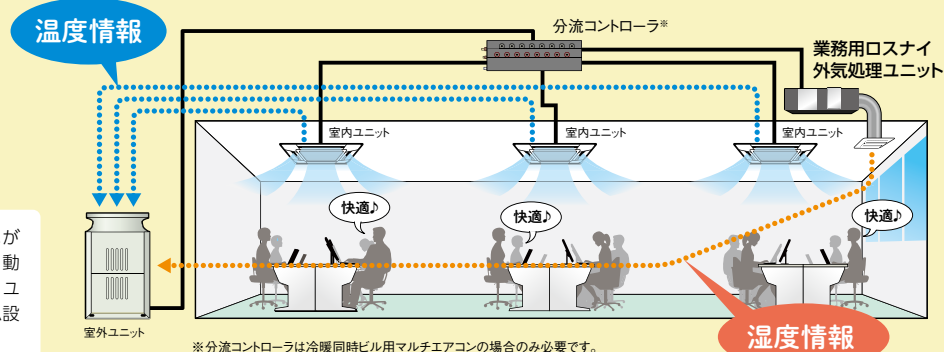
そこで

三菱電機のビル用マルチエアコンでは「温度」と「湿度」を見ながら「自動で冷媒温度を制御する」省エネ空調システムをご提案します。

潜顕スマート除 / 加湿空調システム

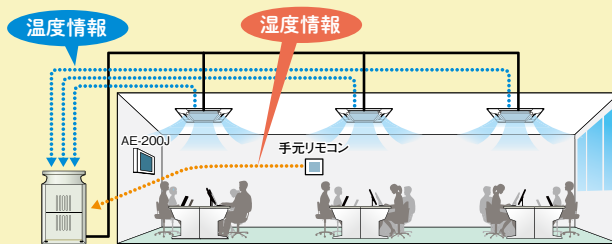
部屋内の快適性を決める温度と湿度に関し、温度は室内ユニットで、湿度は業務用ロスナイ外気処理ユニットでそれぞれ検知することで、部屋内の快適性をみながら自動で冷媒温度を制御します。

Point 三菱電機は温度と湿度をみながら、通常運転と高顕熱運転を自動で可変させるので、機器設置時の室内ユニットの台数も通常と変わらないシステム設計が可能です。



潜顕スマート省エネ空調システム

お客様のニーズに応じて、業務用ロスナイ外気処理ユニットを使用するシステムのほかに、手元リモコン (PAR-F30ME1) に内蔵している湿度センサーを活用して、自動で冷媒温度を制御することが可能です。また、お客様でご準備される各種センサー値に応じて、室外ユニットに対して外部接点入力をしていただくことで自動で冷媒温度を制御することが可能です。



対応手元リモコン

PAR-F30ME1

- ・湿度センサー搭載
- ・人感・照度センサー搭載
- ・タッチパネル

